

令和6年1月24日

西部農林水産振興センター農業振興部

標 題

農地を守るための話し合いが本格化！！  
～浜田市A地区での地域農業の維持・発展の仕組みづくり～

(ダイジェスト)

浜田市金城町A地区では、2023年から地域の農地を守るための活動を始めており、浜田農業部も、地域計画の取り組みの中で、浜田市と協働して支援を行っています。5月に実施した担い手に対するヒアリングを皮切りに、農地の維持管理に関する現地視察の実施、地区の会合などに参画して、次世代に農地のバトンをつなぐための検討を重ねてきました。

今後は、目標地図の作成を契機として、守るべき農地のゾーニングや担い手確保の方策検討に取り組み、持続的な農業の実現に向け支援を行っていきます。

浜田市金城町A地区は、中国山地沿いに位置する中山間地域です。地区では、2023年3月に「地域の農業を考える会」が立ち上がり、地区内の担い手も含めた約10名で、これからの農地の在り方について検討を進めています。

農業部でも、2023年度に始まった「地域農業の維持・発展の仕組みづくり」の取り組みの中で、A地区を重点支援対象と位置づけ、浜田市と協働し活動を行っています。

5月に、地区内の農地を守っていくために中心的な役割を果たす担い手に対してヒアリングを行い、課題を抽出する中で「ほ場管理作業の中でも、最も労力負担の大きい畦畔法面除草の軽労化を進めていかなければ、継続して農地を守っていくことはできない」との意見がありました。

そこで11月18日に、県の担い手不在集落解消推進事業を活用し、「地域の農業を考える会」を対象として、雲南市と飯南町内の集落営農法人へ視察を行いました。

視察では、①草刈り隊を結成し地域内外から人を呼び込むことで、農地の維持管理だけでなく文化の継承まで行っている事例、②条件不利地において経営の多角化を実践している事例を学び、これからの農地管理の在り方について、知識を深めました。

その後、農業部が視察後の参加者アンケートの集約と課題整理を行い、地区の話し合いの場で、今後の進め方の提案等を行いました。

その結果、「農地を守っていかなければ、農業だけでなく地区住民の生活も脅かされる」ことを視察メンバーと再認識するとともに、地域計画づくりの取り組みとして位置づけられている目標地図の作成に取り組みながら「農地のゾーニング」、「担い手確保の在り方」、「畦畔除草対策」、「地域のファンづくり」等について協議を重ねていくことが決まりました。

今後は、「地域の農業を考える会」だけでなく、地区住民全体が集まる場へ話を広げる計画です。

農業部では、引き続き浜田市と協力し、「地域の農業を考える会」とともに持続的な農業の実現に向け検討を行い、担い手不足、農村の荒廃を防ぐためのモデルになるよう支援を行っていきます。



【現地視察の様子】